

定住自立圏

中心市宣言書



平成 25 年 9 月 4 日

富良野市

定住自立圏中心城市宣言

富良野市は、北海道のほぼ中央に位置し、東方に大雪山国立公園、西方に富良野芦別道立自然公園に囲まれた富良野盆地にあり、その中央部を石狩川支流の空知川がその支流を集めながら南から北西方に貫流し、肥沃な大地と四季折々の自然が織りなす美しい景観を背景に、農業と観光を基幹産業に“北海道のへそのまち”として発展してきました。

また、国道 38 号と国道 237 号、JR 根室本線と富良野線が交差し、道央、道北、道東を結ぶ交通の要衝となっており、この地域の中心都市として、行政、経済、医療福祉、教育文化の拠点としての役割を担ってきました。

本市と近隣 3 町 1 村（上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）が形成する富良野地区圏域は、明治 32 年に本地域に戸長役場が設置されて以降、分離・合併の変遷を繰り返すなど、開拓時から自治体間のつながりが深く、昭和 44 年には、北海道内で 2 番目となる広域市町村圏振興協議会を設立し、市町村間の連携に努めてきました。

また、この圏域では、消防・救急をはじめ、学校給食、し尿処理、公共牧場の事務を一部事務組合による共同処理を行い、平成 20 年度には、事務の効率化を図るため、これらの事務を統合し「富良野広域連合」を設立するとともに、一般廃棄物の広域分担処理、農業や観光をはじめとする事業の共同実施、介護認定審査会等の共同設置、図書館や社会教育施設など各種施設の相互利用など、各分野において圏域内連携に取り組んできました。

さらに、住民の日常生活においても、道路網・通信網の整備・充実などにより、通勤・通学、通院、買物など、広域的な結びつきが強まり、近年では、近隣の多自然を有する町村において雇用の創出や相互に行き交う状況が生み出されています。

現在、我が国では人口減少社会へ本格的に突入し、少子高齢化の急速な進行とともに産業や経済のグローバル化、住民ニーズの多様化など、これまで築かれた社会構造の激しい変化とともに、環境・エネルギー・食料など諸問題が山積しております。

また、地方にあっては、地域経済の低迷、地域主権改革の推進など、地方自治体を

取り巻く環境は、ますます厳しくなることが予想され、地方自治体の自主・自立を確立するための効率的・効果的な行政システムの構築を図ることが求められています。

このような中、今後も地域の活性化と発展を継続していくため、単独自治体での事業展開に加え、圏域市町村のそれぞれが持つ都市機能や地域資源を有効に活用し合いながら、「集中とネットワーク」の考えに基づいた圏域全体で住民の暮らしに必要な機能を確保し、様々な課題に対して相互に連携することが、これまで以上に重要となっています。

富良野市は、定住自立圏構想に基づく「富良野地区定住自立圏」の中心市として、生活圏や経済圏をともにする圏域自治体とのネットワークと連携を更に強化することにより、地域の持つ様々な価値と地域力を高めながら、住民が安全で安心して暮らし、地域全体が活力に溢れ、魅力的な地域づくりを全力で取り組んでいくことを、ここに宣言します。

平成25年9月4日

富良野市長 能登芳昭

1 都市機能の集積状況

富良野市における公共施設等による各種サービス機能、医療機能、商業・娯楽機能その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

分類	都市機能	施設名
行政機関	国の機関	富良野簡易裁判所 旭川家庭裁判所富良野出張所 富良野税務署 旭川公共職業安定所富良野出張所 旭川開発建設部富良野道路事務所 旭川開発建設部富良野地域農業開発事業所 上川南部森林管理署富良野山部合同森林事務所
	北海道の機関	上川総合振興局 〔保健環境部富良野地域保健室 産業振興部上川農業改良普及センター富良野支所 南部森林室富良野事務所 旭川建設管理部富良野出張所〕 富良野警察署
医療・福祉	医療機関	病院 3機関、診療所 8機関、歯科診療所 13機関
	公的機関	北海道社会事業協会富良野病院 〔地域センター病院 地域周産期母子医療センター 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 救急指定病院（二次救急医療病院） 労災指定病院 無料低額診療施設〕
	子育て施設（児童福祉施設）	保育所 〔市立認可 2ヶ所、市立へき地 3ヶ所〕 〔事業所内 4ヶ所、認可外 4ヶ所〕 子育て支援センター 障がい児通所施設（3ヶ所） 児童養護施設 児童厚生施設（5ヶ所）
	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 介護老人保健施設 老人福祉センター
	障がい者福祉施設	知的障害者支援施設 地域生活支援センター 就労継続支援事業所
	その他施設	富良野市勤労青少年ホーム 富良野市保健センター 富良野市地域福祉センター
	教育・文化・スポーツ	専修学校
高等学校		富良野高等学校（道立） 富良野緑峰高等学校（道立） 富良野緑峰高等学校農業特別専攻科（道立）

分類	都市機能	施設名
教育・文化・スポーツ (続き)	幼稚園	私立幼稚園 (4ヶ所)
	研究施設	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林
	文化・社会教育施設	富良野文化会館 公民館 (3館) 市立富良野図書館 富良野市生涯学習センター 富良野演劇工場
	スポーツ施設	富良野スポーツセンター 富良野陸上競技場 富良野市民野球場 富良野市菅若葉球場 富良野スキー場 富良野市中心街活性化センター
産業	商業施設	大規模商業施設 7店舗 (店舗面積 1,000 m ² 以上)
	観光施設	富良野市自然環境活用センター (ふれあいの家) 富良野市自然休養村管理センター (ふらのワインハウス) 富良野市農村環境改善センター (ハイランドふらの) 富良野市ぶどう果樹研究所 (ワイン工場等) 富良野市チーズ工房 市民観光滞留拠点施設「フラノマルシェ」 北の国から資料館 山部自然公園太陽の里
	流通施設	富良野市公設地方卸売市場
	金融機関	北洋銀行、北海道銀行、旭川信用金庫、空知商工信用組合、北海道労働金庫、ゆうちょ銀行、ふらの農業協同組合
	その他施設	コミュニティFM「ラジオふらの」 富良野地域人材開発センター
	消費生活相談	富良野市消費生活センター
都市公園	総合公園	朝日ヶ丘総合公園
交通機能	鉄道	JR 根室本線、JR 富良野線
	国道	国道38号、237号
	長距離バス	富良野⇄札幌、旭川⇄帯広、旭川⇄富良野
広域施設		富良野広域連合 〔事務局、富良野地区環境衛生センター、 富良野学校給食センター、富良野消防署〕 ふらの農業協同組合本所、富良野地区農業共済組合、 富良野地区森林組合、空知川上流土地改良区、

2 都市機能の利用状況

①地域センター病院（北海道社会事業協会富良野病院）地区別患者数

<外来延べ患者数>

	患者数(人)	構成比(%)
富良野市	107,329	60.1
上富良野町	25,073	14.0
中富良野町	19,903	11.2
南富良野町	9,713	5.4
占冠村	3,144	1.8
その他	13,416	7.5
合計	178,578	100.0

平成24年度患者数

<入院延べ患者数>

	患者数(人)	構成比(%)
富良野市	42,587	54.9
上富良野町	12,026	15.5
中富良野町	10,403	13.4
南富良野町	4,666	6.0
占冠村	2,346	3.0
その他	5,606	7.2
合計	77,634	100.0

平成24年度患者数

<救急患者数>

	患者数(人)	構成比(%)
富良野市	3,339	56.5
上富良野町	570	9.6
中富良野町	716	12.1
南富良野町	252	4.3
占冠村	88	1.5
その他	949	16.0
合計	5,914	100.0

平成24年度患者数

②市立富良野図書館の利用登録者数

	登録者数(人)	構成比(%)
富良野市	11,444	85.0
上富良野町	732	5.4
中富良野町	854	6.4
南富良野町	256	1.9
占冠村	73	0.6
その他	98	0.7
合計	13,457	100.0

平成24年度末現在

③通勤通学者数

	常住する従業者・通学者数(人) ※自宅従事者を除く	富良野市への従業者・通学者数	
		(人)	左の割合(%)
上富良野町	5,239	682	13.0
中富良野町	1,962	629	32.1
南富良野町	1,166	93	8.0
占冠村	802	28	3.5

平成22年国勢調査（従業者数、通学者数は15歳以上の数値）

3 圏域自治体と連携を想定する取組

圏域自治体と連携を想定する取組は、次のとおりです。

(1) 生活機能の強化のための取組

ア 医療

- ・住民が安心して生活できる医療体制の整備と高度専門医療や救急医療の確保を図り、地域医療の充実に向けた取組を推進します。

イ 福祉

- ・地域で安心して暮らせる福祉サービスの充実を図るため、効率的な相談体制や支援体制の整備など広域的な取組を推進します。

ウ 教育

- ・地域が連携した教育の振興を図るとともに、充実した教育環境の広域的取組を推進します。
- ・学習活動への意識や意欲に応える図書館機能を充実させるため、図書の利用を推進します。
- ・生涯学習活動の推進と圏域内住民の交流を促進するため、生涯学習事業の情報共有と文化・スポーツ施設の相互利用などを推進します。

エ 産業振興

- ・地域資源を活用した通年・滞在型広域観光の推進と外国人ニーズにあった受入体制の整備などの取組を推進します。
- ・安全・安心・高品質の農産物生産とともに担い手確保や農村集落の活性化など持続可能な農業生産の取組を推進します。
- ・鳥獣による農林業等への被害を防止する取組を推進します。

オ その他

- ・低炭素社会の実現に向けた森林の適正管理と保全などとともに、再生可能エネルギーの普及促進に向けた取組を推進します。
- ・一般廃棄物広域分担処理と新たな資源化について広域的な取組を推進します。
- ・上記のほか、生活機能向上のために必要な取組を推進します。

(2) 結びつきやネットワークの強化のための取組

ア 地域公共交通

- ・日常生活における移動手段を確保するため、自治体間を結ぶバス路線の維持・確保や住民の利便性を向上させるデマンド交通など、多様な交通手段の確保に取り組めます。

イ デジタルディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

- ・テレビ・ラジオ等の難視聴地域の解消に努めるとともに、情報インフラの整備に向けた取組を推進します。

ウ 道路等の交通インフラの整備

- ・高速交通体系の確立を図るため、地域高規格道路 旭川十勝道路をはじめ、都市間交通路線の整備促進に向けた取組を推進します。

エ 地域内外の住民との交流・移住促進

- ・地域内外の住民との交流と移住を促進するとともに、国道237号（花人街道237）を中心とした交流活動やイベントについての情報共有、発信などの取組を推進します。

オ 上記のほか、結びつきやネットワークの強化に必要な取組を推進します。

(3) 圏域マネジメント能力の強化のための取組

ア 宣言中心市等における人材の育成

- ・地域リーダーの人材育成や職員などの資質向上と情報交換を図るため、各種研修会の開催などに取り組めます。

イ 上記のほか、圏域マネジメント能力の強化に必要な取組を推進します。

4 富良野市への通勤通学割合が0.1以上である自治体

本市への通勤通学割合が、0.1以上の町村は、次のとおりです。

	常住する従業者・通学者数(人) ※自宅従事者を除く	富良野市への従業者・通学者数(人)	通勤通学割合
上富良野町	5,239	682	0.130
中富良野町	1,962	629	0.321

平成22年国勢調査

5 その他連携する意思を有する自治体

本市への通勤通学割合が、0.1未満であるが、定住自立圏構想を推進するため、連携する意思を有する町村は、次のとおりです。

- ・南富良野町